

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社トータル・メディカルサービス
 コード番号 3163 URL <http://www.tms-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大野 繁樹
 (氏名) 小倉 賢一

TEL 092-962-9200

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,993	△12.9	109	△51.8	106	△52.5	17	△77.9
25年3月期第2四半期	5,734	—	226	—	223	—	81	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 23百万円 (△68.9%) 25年3月期第2四半期 75百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	12.08	—
25年3月期第2四半期	54.62	—

(注) 平成24年3月期第3四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,325	2,221	30.3
25年3月期	7,850	2,227	28.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,221百万円 25年3月期 2,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,332	△9.2	391	△19.1	384	△19.7	130	△21.3	87.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	1,485,900 株	25年3月期	1,485,900 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	294 株	25年3月期	294 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	1,485,606 株	25年3月期2Q	1,485,606 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策への期待感から株価の回復や円安が進行し、輸出関連企業を中心に明るい兆しが見え始めた一方で、雇用・所得水準の改善の遅れや円安による輸入品の価格上昇等から一般消費者の節約志向が続く中、来年春の消費税増税の影響もあり、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループ（当社及び当社の関係会社）が属する業界におきましては、当事業年度は薬価基準及び調剤報酬改定が行われる年ではありませんが、急速な少子高齢化社会の進展を背景に、社会保障に関する財政改善を目的とした医療費抑制政策の継続基調は変わらず、今後も様々な医療制度改革が行われることが見込まれ、引き続き厳しい状況となっております。

こうした環境の中、当社グループは、調剤薬局事業では新規出店、既存薬局隣接地への医療機関誘致を進め、メディカルサポート事業では特に病院・福祉施設内給食業務受託の新規契約を獲得すべく営業力の強化を図り、収益性の向上に努めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,993百万円（前年同期比12.9%減）、営業利益は109百万円（同51.8%減）、経常利益は106百万円（同52.5%減）、四半期純利益は17百万円（同77.9%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

①調剤薬局事業

当第2四半期連結累計期間において2店舗を新規開局したことや既存店舗で処方箋枚数が堅調に増加したことから、売上高は3,696百万円（前年同期比8.1%増）となり、セグメント利益は496百万円（同15.7%増）となりました。

②メディカルサポート事業

当第2四半期連結累計期間において新規契約を獲得した一方で、既存取引先との契約内容の見直しなどにより取引が減少したことから、売上高は1,296百万円（前年同期比44.0%減）となり、セグメント損失は165百万円（前年同期は3百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間における流動資産の残高は3,604百万円となり、前連結会計年度の残高4,156百万円に対し551百万円減少しました。これは主として、新規開局に伴う設備投資や関係会社株式の取得などにより現金及び預金が259百万円、売上高の減少に伴い売掛金が288百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間における固定資産の残高は3,721百万円となり、前連結会計年度の残高3,693百万円に対し27百万円増加しました。これは主として、関係会社株式や投資不動産の取得などにより投資その他の資産が201百万円増加した一方で、のれんの償却によりのれんが100百万円減少したことによるものであります。なお、土地の一部について保有目的を変更したことに伴い、投資不動産に74百万円振替えております。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間における流動負債の残高は2,520百万円となり、前連結会計年度の残高2,899百万円に対し379百万円減少しました。これは主として、売上高の減少に伴う仕入高の減少により買掛金が316百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間における固定負債の残高は2,582百万円となり、前連結会計年度の残高2,722百万円に対し139百万円減少しました。これは主として、返済により長期借入金が140百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産の残高は2,221百万円となり、前連結会計年度の残高2,227百万円に対し6百万円減少しました。これは主として、四半期純利益の計上額と配当金の支払額との差額により利益剰余金が11百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が5百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べ259百万円減少し、1,845百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、133百万円（前年同期は338百万円）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が106百万円、減価償却費が79百万円、のれん償却額が100百万円、売上債権の減少額が288百万円あった一方で、仕入債務の減少額が316百万円、法人税等の支払額が177百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、187百万円（前年同期は143百万円）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が63百万円、関係会社株式の取得による支出が65百万円、投資不動産の取得による支出が35百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、205百万円（前年同期は5百万円）となりました。これは主として、短期借入金が40百万円減少し、長期借入金の返済による支出が224百万円、配当金の支払額が29百万円あった一方で、長期借入れによる収入が100百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月14日に発表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

当社は、平成25年9月27日開催の取締役会において、株式会社メディカルシステムネットワークの連結子会社である株式会社ファーマホールディングが実施する当社普通株式の公開買付けについて、賛同の意見を表明するとともに、当社株主の皆様が本公開買付けに応募することを推奨する旨の決議をいたしました。

なお、本公開買付けは、公開買付者が当社普通株式を取得し、当社を公開買付者の完全子会社にすることを目的として行われるものであります。

公開買付けの概要

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| (1) 公開買付者 | : 株式会社ファーマホールディング |
| (2) 対象者 | : 株式会社トータル・メディカルサービス |
| (3) 買付け等に係る株券等の種類 | : 普通株式 |
| (4) 買付予定株式数 (注) | : 1,485,606株 |
| (5) 買付下限株式数 | : 990,404株 |
| (6) 買付け等の期間 | : 平成25年9月30日から平成25年11月19日まで |
| (7) 買付け等の価格 | : 普通株式1株につき3,200円 |

(注) 平成25年6月30日現在の当社の発行済普通株式総数1,485,900株から、同日現在当社が所有する自己株式数294株を控除した株式数であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,104	1,845
売掛金	1,703	1,415
たな卸資産	194	212
その他	154	132
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	4,156	3,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	920	933
土地	998	924
その他（純額）	168	150
有形固定資産合計	2,086	2,008
無形固定資産		
のれん	754	654
その他	43	49
無形固定資産合計	798	703
投資その他の資産		
投資有価証券	164	172
関係会社株式	—	65
投資不動産（純額）	351	456
その他	295	317
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	808	1,009
固定資産合計	3,693	3,721
資産合計	7,850	7,325

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,890	1,574
短期借入金	511	487
未払法人税等	184	125
賞与引当金	111	129
その他の引当金	0	2
その他	200	201
流動負債合計	2,899	2,520
固定負債		
長期借入金	2,537	2,397
退職給付引当金	91	90
役員退職慰労引当金	77	80
その他	15	13
固定負債合計	2,722	2,582
負債合計	5,622	5,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	281	281
資本剰余金	184	184
利益剰余金	1,744	1,732
自己株式	△0	△0
株主資本合計	2,210	2,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	23
その他の包括利益累計額合計	17	23
純資産合計	2,227	2,221
負債純資産合計	7,850	7,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,734	4,993
売上原価	5,032	4,409
売上総利益	701	583
販売費及び一般管理費	474	474
営業利益	226	109
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	0
受取賃貸料	8	10
その他	3	4
営業外収益合計	13	15
営業外費用		
支払利息	9	8
投資不動産管理費用	4	9
その他	2	0
営業外費用合計	15	18
経常利益	223	106
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	10	—
満期保険返戻金	8	—
特別利益合計	20	—
特別損失		
減損損失	13	—
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	13	—
税金等調整前四半期純利益	231	106
法人税、住民税及び事業税	163	119
法人税等調整額	△13	△31
法人税等合計	150	88
少数株主損益調整前四半期純利益	81	17
四半期純利益	81	17

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	81	17
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	5
その他の包括利益合計	△5	5
四半期包括利益	75	23
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	231	106
減価償却費	67	79
減損損失	13	—
のれん償却額	132	100
賞与引当金の増減額(△は減少)	21	17
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
受取利息及び受取配当金	△1	△0
支払利息	9	8
満期保険返戻金	△8	—
固定資産除売却損益(△は益)	△1	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	△10	—
売上債権の増減額(△は増加)	146	288
たな卸資産の増減額(△は増加)	△52	△17
仕入債務の増減額(△は減少)	△15	△316
その他	△22	54
小計	508	320
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△9	△9
法人税等の支払額	△201	△177
法人税等の還付額	38	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	338	133
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却及び償還による収入	19	—
有形固定資産の取得による支出	△143	△63
関係会社株式の取得による支出	—	△65
投資不動産の取得による支出	△21	△35
投資不動産の売却による収入	8	—
その他	△6	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143	△187
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△280	△40
長期借入れによる収入	600	100
長期借入金の返済による支出	△240	△224
リース債務の返済による支出	△11	△11
配当金の支払額	△74	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5	△205
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	188	△259
現金及び現金同等物の期首残高	2,134	2,104
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,323	1,845

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	調剤薬局事業	メディカル サポート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,418	2,315	5,734	—	5,734
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9	9	△9	—
計	3,418	2,325	5,744	△9	5,734
セグメント利益	429	3	432	△206	226

(注)1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「メディカルサポート事業」セグメントにおいて、処分を予定している資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は13百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	調剤薬局事業	メディカル サポート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,696	1,296	4,993	—	4,993
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7	7	△7	—
計	3,696	1,304	5,000	△7	4,993
セグメント利益 又は損失(△)	496	△165	331	△222	109

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。